

(別表第1の4)

## 目標達成計画

事業所名:グループホーム春の風

作成日:平成29年2月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	33	看取りケア終了時に振り返りの機会を持っているが、利用者の死を乗り越えられぬまま日々の業務に就く職員もいる為、職員の心のケアについては不十分である。	利用者・ご家族の思いに寄り添った看取りケアができるよう、介護スタッフの心構えや基礎知識を高めながら、看取りケアにあたるスタッフの不安の軽減を図れる。	・看取り終了時に関わった介護スタッフを個別で話し合いの場を設ける ・看取りケアに関するパンフレットの活用をした介護スタッフ研修を行う。 ・看取り体験談をもとに情報交換し、今後の課題・解決を明確化していく事でスタッフの不安軽減を図る。	3 か月	・看取り終了時に関わった介護スタッフの個別話し合いの場を早急に設け、現在は前向きに介護業務に努めて頂いている。スタッフの捉え方・その場の状況における介護スタッフの精神的不安等、ひとくくりにはできないものは個別に時間を設ける事で心のケアに努めている。
2	35	夜間等職員の少ない時間帯の不安の軽減、地震や津波等災害時の対応については、職員それぞれ曖昧な把握に留まっている面もあるため、利用者が安全に避難できる方法を職員全員で確認、訓練する必要がある。	地震や津波などの災害時に、利用者が安全に避難できる方法をスタッフ全員が把握できる。	・避難訓練の状況を動画撮影することにより、スタッフの動きを「見える化」することでスタッフ全員で改善点を考える機会をもつ。 ・地域消防団とのつながりがもてるようあいさつに出向き、GH春の風の事を知ってもらう。	1 か月	・1月28日:地域の方やご家族にも協力していただき、地震災害時(夜間)を想定した避難訓練を実施。リアルにスタッフの動きや改善点がわかる様に動画撮影をした。今後のスタッフ研修・訓練に活用できるよう取り組んでいる最中である。避難判断基準・避難場所の見直し・2階ユニット歩行困難な方の搬送方法等、リアルな課題が見えてきている。
3					か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

(別表第1の5)

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )